

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年9月7日

【評価実施概要】

事業所番号	” 0175000926
法人名	株式会社ナショナルスタッフセンター
事業所名	グループホーム松風
所在地	〒090-0833 北見市とん田東町450番地の7 (電話) 0157-26-1177

評価機関名	有限会社 NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成21年8月24日

【情報提供票より】(21年 7月 23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 21日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	16 人 常勤 14 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 7.4人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	450 円
	夕食	500 円	おやつ	50 円
	または1日当たり		1,300 円	

(4) 利用者の概要(7月23日現在)

利用者人数	17 名	男性	5 名	女性	12 名
要介護1	5 名	要介護2	3 名		
要介護3	4 名	要介護4	5 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81 歳	最低	65 歳	最高	101 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北見中央病院・北見赤十字病院・藤澤歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、北見市西部地区の交通アクセスの良い商業地域に立地し、2階建て2ユニットになっており、高齢者共同住宅が併設されています。敷地内には花畑や野菜畑があり、利用者と共に苗を購入し栽培する等、楽しみながら生き甲斐支援に繋がっています。開設時に施設長がホームのあるべき姿を考え、利用者が優しいスタッフの中で安心して生活できるようにと定めた理念「四季のある自由な生活 快適に優しい介護 おいしい食事」を職員は共有し、日々のケアが理念に添っているか常に確認しながら、共に学び合う姿勢の中で利用者本位のケアサービスを目指し取り組んでいます。窓が大きく明るいリビングには利用者の作品や季節の飾り付けがされて家庭的で穏やかな雰囲気が感じられます。当事業所に隣接して協力医療機関である総合病院があり、利用者・家族の安心感を得ています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善点については施設長・管理者・職員で話し合いながら改善に向けて取り組み、特に、災害対策の面では、夜間を想定した避難訓練の実施やスプリンクラーの設置等改善されています。地域との付き合いについては、自治会のない地域でもあり、難しい点もありますが地域の枠を広げ交流することも検討しています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員がそれぞれ項目別に自己評価に取り組み、施設長がまとめて作成しています。自己評価の実施により日々のケアサービスの確認と課題点の発見に繋がっています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>利用者家族・地域包括センター職員・施設長・管理者・職員等が参加し、開催されています。状況報告、行事予定、事故報告等が話し合われ、家族の認知症の理解の機会ともなっています。地域の商店主や近隣の方にも参加の声掛けを行っていますが、現在参加はなく、今後、枠を広げ隣の町内会等にも参加を呼びかけていく予定となっています。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>意見箱を設置していますが、現在まで利用はされておりません。施設長・管理者・職員は、家族の訪問等を大切な機会と捉え何でも行って貰える関係作りに努めています。又、3ヶ月に一度ホーム便りを郵送し、利用者の様子をお知らせしています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会のない地域という特性がありますが、近所のコンビニを利用し、散歩時に挨拶する等、近隣の理解と交流に努めています。カラオケ同好会、大正琴のボランティアの受け入れも行われています。</p>

(有) NAVIRE

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく安心して生活できるよう「四季のある自由な生活、快適に優しい介護、おいしい食事」を独自の理念に掲げています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関、リビング等に理念を掲示し、カンファレンス・全体会議で意識確認をし、日々のケアサービスで理念が実践できるよう取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	商業地域で自治会がなく、同棟の高齢者共同住宅の住民とカラオケ・焼き肉等で交流がされています。近所のコンビニを利用したり、散歩時には挨拶をするよう心がけています。カラオケ・大正琴のボランティアの受け入れも行っていきます。	○	自治会がなく難しい点があると思われませんが、民生委員等に相談をするなど、何か地域との関係に繋がる突破口を見つけ、地域の中で利用者の生活が豊かになるよう積極的に取り組むことを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が評価を実施する意義、目的について理解しており、全職員で自己評価に取り組み施設長がまとめています。ケアの再確認、課題点の発見に繋がっています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者家族・地域包括センター職員・施設長・管理者・職員等が参加し開催しています。状況報告・消防訓練報告・行事予定・事故報告等により意見交換が行われています。家族のホームへの理解にも繋がっています。今後は別な町内会等にも参加の呼びかけを予定しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設長・ケアマネージャーが窓口となり行政との相談や情報収集に努めています。スプリンクラー設置時は市の介護福祉担当者が来訪するなど必要に応じて連携をとり、共にサービスの質の向上に努めています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	3ヶ月に一度発行する「松風だより」と家族の来訪時に暮らしぶり、健康状態、職員の異動等について伝えていきます。緊急時や状況変化時にはその都度電話で報告をしています。全職員が情報を共有し、家族に報告できる体制になっています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者は契約時に外部・内部の苦情窓口について説明しています。意見箱が設置されていますが実際の利用はなく、家族の来訪時を大切な機会と捉え、話して貰えるような雰囲気づくりを心がけています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動はなく、離職がやむを得ない場合は引き継ぎに時間をかけ関係づくりに努め、利用者のダメージを防ぐよう配慮しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設長は職員育成の重要性を認識しており、事業所外で開催される研修については情報を提供しています。研修に参加した職員は報告書を作成し、全体会議等で情報を伝達し共有を図っています。	○	全職員が十分な研修を受けるまでには至っていません。限られた職員体制の中で研修機会を確保するためには、職員と充分話し合い段階的・計画的に参加できるよう工夫をし、職員のスキルアップに繋げることを期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会網走ブロックに加入しており、研修会に参加するなど同業者と交流し、サービスの質の向上に努めています。個人的に他グループホームを見学する職員もいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人・家族が安心して利用できるよう事前に自宅を訪問し、利用者の状況把握に努めています。入居後、不安を訴える利用者には職員の声かけ等の工夫で徐々に馴染めるように配慮しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の生活歴を把握し、利用者本人の好きなこと、得意なことを職員と一緒にいき、時間を共有しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中での会話や家族の情報などから、希望や思いの把握に努め、本人主体となれるよう努めています。		
を					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回のカンファレンスで検討されたことを基に家族の来訪時に聞いた意見・希望をプランに反映させ、利用者本位の介護計画を作成しています。カンファレンス記録はユニット毎交換し、全職員が情報共有に努めています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しを行うとともに利用者の状況を見極め、必要に応じて関係者で話し合い、現状に即した新たな計画を作成しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	基本的に受診は家族対応になっていますが、緊急時や家族が対応できない場合は職員が付き添って通院するなど、柔軟な支援をしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者それぞれが希望するかかりつけ医での受診になっています。又、状況によって看護師が同行するなど、主治医と連携をとり適切な医療が受けられるよう支援しています。週一回の訪問看護師による健康管理が行われています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期については指針を整備し、契約時に家族に説明しています。利用者・家族が安心してサービスが受けられるよう全体会議で話し合い、情報を共有しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳を傷つけないさり気ない声かけや対応を心がけています。日常の記録や個人情報の管理についても注意が払われています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者が望む過ごし方やペースを尊重した散歩・入浴・畑作業などへの声かけを行いながら、一人ひとりの思いに配慮した支援をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事も大切なケアの一つと考え、職員と利用者が同じテーブルを囲み、和やかな雰囲気の中で食事を楽しんでいます。利用者の力に応じて食事の準備・食器洗い・食器拭き等、職員と一緒にしています。外出時の食事や寿司職人の来訪は利用者の楽しみになっています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員が一方向的に決めず、利用者のその日の希望・体調を確認し、本人に合わせた入浴を行っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	縫い物・配膳・下膳・食器洗い・食器拭き・畑作業等、利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っています。ラジオ体操やゲーム(トランプ・カルタ・ボール遊び等)を日々の生活の張り合いや楽しみごとに繋げています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の気分や希望に応じて、買い物・散歩・畑作業・外気浴・歩行運動等の外に出ることを支援しています。お花見・菊祭り・盆地祭り・敬老会にも出かけています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけることの弊害を十分理解しており、日中は鍵をかけないケアを実践しています。一人で外出する利用者には職員の見守りが徹底され、安全が確保されています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は消防署の協力を得て年2回実施しています。地域住民にも訓練実施の案内をしていますが、参加するまでには至っていません。災害に備えてスプリンクラーが設置されています。	○	いつ起こるか予測できない災害については、あらゆる事態を想定した訓練の実施や地域の協力体制の整備、更には、職員が救急救命を受講するなどして利用者の安全確保に繋げることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は利用者の食事・水分摂取量を把握しており、一人ひとりの状態に応じて支援しています。栄養バランスに配慮した献立は栄養士が作成しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は明るく、職員と利用者が一緒に作成した季節の作品等が飾られ、穏やかな家庭的な雰囲気を醸し出しています。職員の気付きによって後付けされた手すりは工夫が見られ、利用者に合わせてより住みやすい環境になっています。衛生面にも配慮がされています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は本人の使い慣れた馴染みの物が持ち込まれており、安心して過ごせる工夫をしています。又、職員による誕生日プレゼント(利用者本人の手形等)が壁に貼られ、日常の和やかさが感じられます。		